

1 基本情報

事業名称	区民の主体的な健康づくり推進事業				
事業目的	中区地域計画における「健康を支える地域社会の構築」をめざし、次のことに取り組む。 ○こどもに対して健康的な生活習慣を啓発することで、こども自身の健康意識を高めると同時に、保護者への波及効果もねらう。 ○区民が自身の健康状況を自己管理できるよう推進する。 ○「健康づくり自主活動グループ」の活動支援により、区民の健康保持増進やフレイル予防を推進する。また、区民間交流をすすめる。				
事業概要	○小学生対象に健康的な生活習慣獲得のための教室を実施する。 夏休み期間に場所や時間に制限されず参加できるようリモート型の教室とする。 ○イベント等で高血圧の啓発と健康チェックを行う機会を設け自己管理を推進する。 ○「健康づくり自主活動グループ」の活動が継続発展できるよう活動支援を行う。				
実施主体	中区役所中保健センター	実施場所	中区役所、原池公園体育館、中区管内（啓発について）	実施時期	令和7年4月～令和8年3月

2 設定指標

活動指標	健康教育を実施した人数 ※保健センターで実施する教室に加え、地域に出向き健康チェックや特定健康診査受診について健康教育を実施した人数		R4	R5	R6	R7
		目標	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人
		実績	1,004人	905人	920人	1,168人
成果指標	定期的に血圧や体重を測定するなど、自分自身の体調をチェックしていますか。 (市民意識調査において「している」と回答した中区民の割合)		R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	-	75.0%
		実績	73.8%	79.5%	75.0%	76.7%

3 事業評価

決算額		255,077		円											
①妥当性		○		②費用対効果		○		⑤総合評価		○		評価基準			
生活習慣病予防には、こどもの頃からの健康的な生活習慣の形成が重要であることから、本事業の実施により将来の健康維持に必要な知識や情報を提供している。 また、自身の生活習慣や日頃の活動を見直すきっかけとなり、健康管理やフレイル予防の推進につながるよう、健康チェックや「健康づくり自主活動グループ」の活動支援を行うことが重要である。 以上のことから、事業を実施する妥当性が高い。				こどもたちに正しい生活習慣の定着を促した。 また健康チェックや「健康づくり自主活動グループ」の活動支援を通じて、生活習慣の見直しや主体的な健康管理の推進を図った。継続的な健康づくりに向け、効率的に事業を実施することができおり、費用対効果が高い。				○「からだのふしぎ探検隊」をリモートで実施することで、市民の利用しやすいタイミングで情報を提供することができた。また、受講後も継続して健康行動に取り組む児童が多く確認できた。 ○自主活動グループへの個別訪問や自主活動グループ対象に健康チェック会を実施することで、健康増進に関する情報提供ができた。 ○一般市民対象に健康チェック会を実施（3回105名）することで、生活習慣の振り返りや、生活習慣病、がん検診に関する知識を得る機会を提供することができた。 以上のことから、本事業は区民利益につながる有効な事業である。				◎：非常に高い水準で達成 ○：十分な水準で達成 △：達成度が限定的 ×：達成されていない －：評価対象外			
③庁内・公民等連携		○		④区の計画への寄与度		○									
「からだのふしぎ探検隊」については、小学校と連携して、事業の周知を行っている。 健康チェックでは、連携協定企業、地域包括支援センター、理学療法士等と連携し実施しており、連携の度合いが高い。				学童期からの正しい生活習慣の定着を図り、健康チェックや「健康づくり自主活動グループ」の活動支援を通じて、主体的な健康づくりの推進を行っており、計画における「健康を支える地域社会の構築」の取組に寄与している。											

4 課題と対応方針及び今後の方向性

課題	若年期からの継続した健康的な生活習慣の形成が重要であり、壮年期以降も含めたライフステージを通じたアプローチが必要	今後の方向性	継続
対応方針	企業や学校との連携などの効果的なアプローチを検討する。		